

一般財団法人 明石コミュニティ創造協会 2017 年度事業報告書

総括

2017 年度は、明石市立生涯学習センター及びあかし男女共同参画センターの管理運営について、「複合型交流拠点ウイズあかし」として担うことになり、明石コミュニティ創造協会にとって人員体制、事業内容を大幅に変更するなど、大きく飛躍する 1 年でした。

2016 年度から 1 年かけて指定管理運営の準備を進めてきたというものの、開設当初は、十分引継ぎができていないことも多く、戸惑うことも多々ありました。しかし、インターネット予約システムの導入や備品料金の改定、新たに設置したフリースペース、ブースの運営等といった、新しい取り組みにもチャレンジし、その基盤をつくることができたことは大きな成果であったといえます。

事業面においても、明石市より引き継いだ企画（「あかし楽歴史講座」や「みんなの講座」※詳細は後述）は、単純に同様の内容を実施するのではなく、受講者同士がつながる仕掛けを取り入れたりと、講師デビューがスムーズにできるようサポート機能を強化させたりと、中身を充実させることに注力しました。その効果も少しずつですが、見えはじめています。新規の企画としては、男女共同参画センター部門で多数実施することができました。相談員が現場の視点を活かして、企画が実施した自己尊重セミナーは、受講者から大変好評で、受講修了者でのグループ活動につながりつつあります。LGBT の講座を実施するなど、従来からの DV 相談等の女性相談だけではない分野に踏み出すことができたことも大きな一歩であったと考えます。このように指定管理運営においては、公衆施設の管理運営だけにとどまらず、少しずつソフト面を充実させることができました。

一方で、明石コミュニティ創造協会設立当初からの重要事業である地域支援事業（校区まちづくり組織の支援）は、特に新たな動きができたとはいえ、まちづくり計画書策定校区を中心とした校区への直接支援にとどまってしまうました。新たな動きといえば、先進事例を紹介する「まち活パワーアップセミナー」の開催や地域情報を発信するポータルサイト「まちナビ AKASHI」の運営です。しかし、このようなセミナーやコラボミーツといった交流の機会の提供、まちナビ AKASHI での情報発信支援などを通じて、少しずつですが、指定管理運営するウイズあかしが、地域支援の拠点であるということの認識につながりつつあるのではないかと感じています。

2018 年度は、地域の支援をより充実させつつ、ウイズあかしと地域をつないでいきたいと考えます。

ウィズあかしの運営（公共施設の管理運営事業）

市民みんなで作る「ウィズあかし」を目指して

一人ひとりの市民が、明石のまちで「主役」として活躍できるよう、個人の「きっかけ」づくりから、活動へつながる「発展」までを担う複合型交流拠点として、2017 年 4 月 1 日、明石コミュニティ創造協会による明石市立生涯学習センター及びあかし男女共同参画センターの指定管理事業がスタートしました。生涯学習、男女共同参画の推進とともに、市民活動支援の機能を配置し、3 つの機能を持つセンターとして複合であることを意識して 1 年間運営してきました。

例えば、施設愛称の「ウィズあかし」は市民公募から決定し、登録団体制度や市民サポーター制度を整えるなどみんなで作る複合型交流拠点として、参加型の運営基盤を整えました。他にも受付時間の延長、フリースペースの設置、女性相談窓口の拡大、フリーWi-Fi の設置など、利用者がより使いやすいように見直しを進め、高い満足度を得られています。

事業については、これまでの事業を引き継ぎつつも交流会の開催や、広報の方法を変更するなど、新たな展開を見せています。特に男女共同参画に関する事業は、これまでになかった視点や、受講しやすいように回数を増やすなど、効果的に事業を実施しました。

1. 事業

(1) 複合型事業（生涯学習・男女共同・市民活動支援の連携事業）

① ウィズフェス 2018

3 月 4 日、ウィズあかしの PR と各種団体の交流を目的として、生涯学習・男女共同参画・市民活動支援のすべてを内包したイベントとして開催しました。当日は 1,300 名が来館し、多様な個人、団体が交流し、今後の活動のきっかけとなりました。本事業は、兵庫県ふるさとづくり交流会議と共催し、県内の市民活動団体も複数出展されました。

・来場者数：1,300 名

・実施内容：

イベント名	内容	参加者数 (延べ人数)
ウィズフェスステージ	市民活動団体によるステージ発表	—
地域 PR ブース カフェエリア	地域まちづくり組織の計画書等の展示 飲料が購入できる休息スペースの運営	70 名 (カフェ利用者数)
ウィズトーク	地域づくりに関わるゲストによる事例紹介 ゲスト：2 畳大学学長 梅山 晃祐 氏 博士 (社会学)、大学講師 谷 亮治 氏	42 名
交流会	参加者による交流会	35 名
体験ブース	市民活動団体による体験型活動 PR ブース	959 名
パネル展示	市民活動団体による活動展示	—
Coder Dojo 明石 ※ Coder Dojo 明石主催	子どもたちに向けたプログラミング教室	6 名 (子ども) 7 名 (メンター)
ぬりえ&みんな で コラボカフェ	ぬりえとコラボージュによる自己表現ワーク	77 名

大人のための 絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせを行い、感想をシェアする	12 名
クイズ! 『じょかつ!』 ※あかし女性応援ねっと主催	女性活躍推進に関する〇×クイズを出題	51 名
就職のための応募書類 なんでも相談	求職中の方を対象に応募書類のアドバイス	5 名
映画上映会	「ずっといっしょ」「ふるさとがえり」の上映	55 名
ボランティアによる運営	ボランティアとともに参加者をおもてなし (着ぐるみ・スタンプラリーなど)	20 名

② 大野俊三 JAZZ CONCERT IN AKASHI 2017

11 月 5 日、ウィズあかし誕生記念イベントとして、世界的に有名なトランペット奏者、大野俊三氏によるコンサートを行いました。当日は子午線ホールの 293 席が満席になり大変好評でした。

(2) 各種講座・セミナー

生涯学習推進事業

世代や性別に関係なく、学びから明石のまちを好きになり、更にその学びを他人と分かち合うことで、まちに還元できるよう、様々な講座を開催しました。つながりサロンでは広く市民に呼びかけ語り合いの場を、チャレンジ・ザ・ドリームでは子どもたちの学びの機会を、みんなの講座では市民講師のデビューの機会を作りました。それぞれターゲットは違えど、誰もが参画できることを意識しました。いずれの講座も終了後に参加者、講師の交流の機会を開催し、受講しただけでは終わらない関係づくりを進めました。

みんなの講座でデビューした市民講師の中には自ら貸室を借りて講座を開催するなど、次のステップに進んでいます。

① あかし楽歴史講座（全 11 回の連続講座）

2017 年度のテーマは「諸学諸相の歴史から見た明石」。より明石に愛着を持てるよう、まちの身近なものから地球規模の歴史まで、明石の歴史について様々な分野から学びました。本講座はあかし学実行委員会（委員 10 名）により企画・運営しています。

- ・応募者数 145 名／当選者数 115 名
- ・実施内容：

開催日	テーマ	講師	参加者数
8 月 12 日	民俗学から見た明石 環境民俗学の視点から ～大小の境界から見た明石市～	明石市文化財審議会 田下 明光 氏	101 名
8 月 19 日	地理学から見た明石 現在の姿に至るまで	神戸学院大学人文学部准教授 矢嶋 巖 氏	95 名
8 月 26 日	水産学から見た明石 明石のたこ	明石市農水産課水産係長 渡辺 慎介 氏	86 名
9 月 9 日	生物学から見た明石 明石の水草 オニバスを中心に	兵庫・水辺ネットワーク 碓井 信久 氏	95 名
9 月 16 日	地質学から見た明石 明石の大地 200 万年の歴史	神戸親和女子大学教授 齋本 格 氏	92 名
9 月 30 日	教育学から見た明石 高校の歴史から明石が見える ～教育史の視点から～	明石城西高等学校教諭 吉岡 保 氏	82 名
10 月 7 日	文学から見た明石 梁田蛻巖の夏	神戸学院大学人文学部准教授 中村 健史 氏	83 名
10 月 14 日	天文学から見た明石 明石発 宇宙の旅	明石市立天文科学館長 井上 毅 氏	84 名
11 月 11 日	歴史学から見た明石 岩屋神社 天正 3 年 5 月の雨乞い	日本歴史学会会員 茨木 一成 氏	75 名
11 月 25 日	経済学から見た明石 マクロ経済の動向と明石の変化	神戸学院大学経済学部准教授 岡本 弥 氏	77 名
12 月 9 日	考古学から見た明石 考古学が解く明石の謎	明石市文化財調査団 山下 敏郎 氏	80 名

② こどもあかし楽講座 チャレンジ・ザ・ドリーム

小学 6 年生を対象に、看護師・理学療法士・消防士・図書館司書・保育士・建築士・劇場スタッフ・新聞記者の職業体験を実施しました。

- ・実施日：8 月 24 日
- ・応募者数 55 名／参加者数 47 名

③ 市民企画「みんなの講座」

市民自らが趣味や特技を活かして講師となる生涯学習に関する講座の企画を募集。事前研修・会場確保・広報等の支援を行い、9 名が講師デビューをしました。

- ・実施数：応募 58 企画／採用 9 企画
- ・実施内容：

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
10月15日	もっとわかる！天気予報	気象キャスター 中谷 雪乃 氏	34名	25名
10月27日 11月10日 12月1日	赤ちゃんの体のキホン作り	ベビー運動アドバイザー 福家 梨栄 氏	29名	16名
11月7日 11月27日 12月5日	寄って、来って、支え合い塾	明石歌声交流会代表 大園 満子 氏	26名	46名
11月9日 11月30日 12月14日	かぞくの絵本時間 ママ・パパと楽しむ絵本&絵本の選 び方	絵本のある親子のまなびや 「チエノワ」主催 植木 恭世 氏	22名	53名
11月12日 11月19日 11月26日	日本語遊園地	神戸国際行政書士事務所代表 大串 博行 氏	19名	28名
11月26日 12月24日 1月21日	知って納得！ 目からウロコのワイン学 日常生活にワインを♪	日本ソムリエ協会 認定ソムリエ 井川 愛 氏	33名	77名
12月1日 12月8日	セルフケアで 自律神経を整える	リラクゼーションセラピスト Tomosan	75名	22名
1月14日 1月28日 2月11日	お口の病気	歯科医 足立 邦彦 氏	35名	48名
1月25日 2月1日 2月8日	子どもの健康な歯並びのために家族 で取り組めること	歯科衛生士 松尾 亜里沙 氏	13名	33名

④ つながりサロン

誰でも集うことができ、気楽に話し合える「井戸端会議」の場を提供。何気ない会話の中から活動のヒントが見つかることも。市民サポーター（ボランティア）による運営を行っています。

- ・実施日：毎月第1、3木曜（計23回）
- ・参加者数：延べ178名

市民活動支援事業

2017度は登録団体制度（後述）の開設やロッカー、フリースペースの利用方法など、基盤整備に力を入れた一年でした。3月に開催したのウィズフェス2018では活動団体の展示やステージで団体同士が深く交流しました。また、地域支援業務と連動した各種セミナー（まち活パワーアップセミナー・明石コラボミーツ／後述）などを行い、多様な人が交流しこれまで以上に新たなつながりができました。

① わらしべ交流会

活動団体が気軽に参加し、市民活動のノウハウや困り事などさまざまな情報交換の場として開催しました。

- ・実施日：9月2日／10月7日／11月4日計3回
- ・参加者数：延べ16名

② 市民活動団体と地縁団体との交流・学びの場（コラボミーツ、まち活パワーアップセミナー）

市民活動団体、地縁組織、行政職員などが学び合い、協働を進めるきっかけとなる場として講座、交流会を開催しました。いずれも地域支援事業とのコラボ事業として実施しました。詳細については、地域支援として後述します。

男女共同参画事業

2017 年度、最も効果を発揮したのが男女共同参画事業です。女性相談の時間拡大や、新事業の実施を進めました。相談事業を行っている強みを生かし、女性カウンセラーが現場でのニーズから企画した講座や、語り合えるコミュニティづくりなど、多岐にわたって実施しました。他にも、男性や子ども、親子を対象とした事業、多様性に関する事業など、新たな対象へのアプローチを積極的に行うことで、男女共同参画に対する新たな1面を表現できました。いずれの講座も高い満足度をしています。

① 多様性に関する普及啓発事業

従来の「らしさ」ととらわれない、それぞれの個性や価値観を認め合う社会を目指し、講座や展示を行いました。

【講座】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
9月10日	人形劇 カリンのあたらしいおうち	絵本楽しみ隊	20組	19組
		フルーツパフェ	50名	49名
12月16日	LGBTを知ろう！	心理カウンセラー 佐藤 千恵子 氏	15名	11名

【展示】

期間	テーマ	場所
6月21日～6月29日	男女共同参画週間	7階ウォールギャラリー
12月9日～12月19日	LGBT支援	
3月3日～3月7日	男女雇用機会均等法	

② 気軽に参加できるサロン

ワークや読書など多彩な内容で少人数のサロンを開催。新たな価値観に出会う場となりました。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
6月28日	おとなのぬりえカフェ	女性のための相談室 カウンセラー	7名	7名
1月31日	アートな夜活 コラージュカフェ	女性のための相談室 カウンセラー	7名	5名
10月18日 ～3月28日	ママ&パパのための 読書カフェ（全6回）	-	49名	36名

③ 子育て（イクメン）応援事業

たのしい料理を通じて、お父さんと子どもが触れ合う機会になりました。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
7月21日	お父さんとつくろう！玉子焼	あかし玉子焼ひろめ隊	33組 71名	16組 35名
10月15日	パパといっしょにおはなしたべちゃえ ※明石市立図書館共催	キッチンコミュニケーション協会理事 長 鎌倉 恵子 氏	8組 19名	5組 12名

④ 女性ためのエンパワメントセミナー

自分を大切にし、相手を大切に考える考え方を学び、体験しました。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
9月7日 ～3月23日	自己尊重トレーニング基礎編 (木曜クラス・土曜クラス 計8回)	女性のための相談室 カウンセラー	39名	60名 (延べ人数)
10月21日	自己尊重トレーニング実践編	コミュニケーション トレーナー 小林 清美 氏	38名	27名
2月3日	カウンセラーが語る モラルハラスメント	心理カウンセラー 谷本 恵美 氏	20名	19名

⑤ 就労に関する講座

それぞれのライフステージに合った働き方を選択するための知識や方法を学び、ワークライフバランスについて考えました。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
10月13日	働きたいママの再就職準備セミナー ※ハローワーク明石共催	社会保険労務士 高見 香織 氏	38名	35名
11月19日	出張！女性のための働き方セミナー 起業したい女性のための集客のポイントまるわかり講座 ※兵庫県共催	中小企業診断士 宇田 奈保美 氏	15名	14名
2月16日 ～3月3日	再就職のためのパソコン講座（全10回） ※兵庫県共催	外部講師	22名	18名
3月24日	レジリエンス（心の力）を高める講座 自分を大切にしながら働き続けるために	産業カウンセラー 柏木 吉野 氏	22名	19名

⑥ その他の講座

各種団体と連携し、講座を開催しました。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
10月24日	おとな女子塾 ワンランク上のおもてなし フルーツカッティング ※あかし女性応援ねっと共催	兵庫県旅館ホテル 女将の会理事 山田 こずえ 氏	16名	15名
10月28日	幸せな家庭を築くために ～対等なパートナーシップを～ ※ウィメンズネット・こうべ共催	ウィメンズネット・こうべ 代表理事 正井 禮子 氏	14名	14名
11月3日	女性活躍応援フォーラム ※あかし女性応援ねっと共催	詩人・社会学者 水無田 気流 氏	261名	261名

(3) 登録団体制度

指定管理事業を開始して新たにはじめた制度です。これまでは「あかし市民活動コーナー(以下、コーナー)」に市民活動団体の登録制度がありましたが、ウィズあかしに市民活動支援センターが設置されたことから、コーナーの登録制度を引き継ぎつつ、新たな制度としてリニューアルしました。新制度では、市民活動団体に限らず、登録のハードルを低く設定し多様な団体が登録できる仕組みとしました。メーリングリストの開設や、ブースおくてまえの予約利用、情報交換の場をつくるなど、団体のPRの場や情報の提供、活動の相談など、様々なサポートを実施しました。

門戸を広げたことによって、これまでにないコラボやコーディネートが可能になりました。既に団体同士がつながることで、新たな事業が始まっている例もあります。

- ・登録団体数：134団体
- ・サポート内容：

メニュー	内容
グループ活動スペース（スペース∞、ブルおくとまえ）の利用	団体内の打ち合わせや作業のスペースが利用できます。
メーリングリストの利用	登録団体のイベント情報を共有できます。自分の団体のPRはもちろん、他団体の活動の情報収集もできます。
グループ活動展示スペースの利用	団体の活動紹介や作品の展示ができます。
イベントの受付代行	団体の主催するイベントの申込代行受付を利用できます（有料）。
ロッカーの利用	大・小2種類のロッカーが利用できます（有料）

(4) 女性のための相談室

女性のための相談室では、女性のさまざまな悩みに対して女性問題カウンセラーが対応する「女性のための相談」、就労相談員による「女性のための就労相談」のほか、月に数回程度、弁護士やキャリアカウンセラーによる「女性のための法律相談」「女性のためのチャレンジ相談」を実施しました。

「女性のための相談」では、今年度から面接・電話相談ともに受付枠を大幅に拡大して、休館日以外の毎日9～17時迄対応しています。その結果、相談総件数は前年度比6%増の1130件、なかでも面接相談件数は前年度比14%増となりました。また、面接相談では平日午前中枠に子育て中の新規利用者が増えたほか、土日祝日は有職者の利用率が上がるなど、幅広い利用者のニーズに応えられるようになりました。

「女性のための就労相談」では、相談総件数は前年度比15%増で344件、そのうち新規相談件数は前年度比14%増の123件でした。新規相談者の22%が女性のための相談や関係機関などからの紹介者で、連携が広がっています。また、外国籍や高齢の方の相談、託児対象外の子ども同伴や男性も受け入れ可能な講座の実施など、幅広いニーズに対応しました。

「女性のためのチャレンジ相談」では、有職者の利用推進を目的に、初めての夜間（18～21 時）開催を 2 度行いました。参加者にも大変好評でした。

① 女性のための相談

実施日	内容	人数・件数内訳		
火曜 ～日曜日	女性問題カウンセラーによる女性のさまざまな悩みに対する電話・面接相談	電話相談	835	※DV 関連相談：83 件
		面接相談	295	※DV 関連相談：105 件

② 女性のための法律相談

実施日	内容	人数・件数内訳		
第 3 木曜日 (計 12 回)	女性弁護士による無料法律相談	面接相談	36	・離婚：19 件 ・夫婦：2 件 ・親子：4 件 ・相続：2 件 ・DV：4 件 ・その他：5 件

③ 女性のための就相談

実施日	内容	人数・件数内訳		
火曜 ～日曜日	女性就労相談員による相談 ※マザーズハローワークと連携	相談総数	344	※新規相談：123

④ 女性のためのチャレンジ相談

実施日	内容	人数・件数内訳		
4～3 月 (計 14 回うち 夜間開催 2 回)	女性キャリアカウンセラーによる個別面接相談 ※兵庫県との連携事業	面接相談	35	

(5) 生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネート

個人の「学びたい」や、団体の活動、次のステップに展開するためのアドバイス、団体同士のコラボを促すコーディネートを進めました。1年を通して、徐々に相談件数が増えるなど、認知度が高まってきています。中には団体の認定NPO 法人格取得に関する相談や規約改正に関する相談など、より専門性が必要な相談が増えてきています。

- ・生涯学習、市民活動に関する相談 計 125 件
- ・生涯学習、市民活動に関するコーディネート 計 21 件

(6) 他団体との連携事業

事業の実施や施設の運営に関して、近隣の公共施設や専門的なスキルを持った市民の方々と連携し実施しました。

【連携団体】

- ・あかし女性応援ねっと（10月24日 おとな女子塾、11月3日女性活躍応援フォーラムを共催）
- ・NPO法人ウィメンズネット・こうべ（10月28日「幸せな家庭を築くために」を共催）
- ・兵庫県（通年 女性のためのチャレンジ相談、11月19日女性のための働き方セミナー、全10回 再就職のためのパソコン講座）
- ・ハローワーク明石（通年 女性のための就業相談、10月13日働きたいママの再就職準備セミナー）
- ・明石市立図書館（10月15日 パパといっしょにおはなしたべちゃえを共催）

3. 施設管理

(1) 貸室（有料施設）の運営

① 稼働率

窓口の受付時間を21時まで延長し、貸室備品や調理実習室の料金を改定したほか、抽選、各貸室の予約にインターネット予約システムを導入することで、貸室の予約・抽選の利便性が向上し全体の稼働率向上につながりました。また、新たに設置したフリースペース、ブースおくてまえては、フリーWi-Fiを提供し、全館で飲食可能とするなど新しいサービスの提供に取り組みました。

開館日数	307 日間
来館者数	226,159 人

稼働率の前年度対比では、旧男女共同参画センターの管轄であった学習室 701、703 の稼働率が上昇し、旧生涯学習センターの管轄であった学習室 704、801、803、和室の稼働率が減少しています。生涯学習センターと男女共同参画センターの一体運営による窓口統合の結果、利用者が移動し稼働率が均等化したものと思われます。また、新しい抽選制度が始まった10月利用分以降の稼働率も全体的に上昇しているほか、料金改定や積極的な広報活動の結果、学習室 802 や調理実習室、子午線ホールの稼働率も改善し、全体として前年度比約4%の上昇となりました。

単位：%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
学習室701	H29	64	58	82	99	89	72	75	75	70	71	85	72	76.0
	H28	60	59	67	67	61	70	69	70	67	75	76	70	67.6
学習室702	H29	31	51	73	96	85	58	76	82	72	69	82	82	71.4
	H28													
学習室703	H29	62	69	86	94	89	71	69	72	65	76	89	75	76.4
	H28	54	60	71	75	67	72	77	76	67	88	81	43	68.8
学習室704	H29	61	64	77	55	65	78	77	77	68	65	79	71	69.8
	H28	60	64	73	73	64	70	79	79	63	69	81	67	70.2
学習室801	H29	71	72	83	67	70	74	76	83	71	69	81	85	75.2
	H28	75	79	82	82	70	78	84	88	75	75	90	75	79.4
学習室802	H29	18	40	69	64	65	69	54	67	58	56	71	66	58.1
	H28	21	23	20	29	25	25	37	11	-	-	-	-	23.9
学習室803	H29	60	60	56	62	64	60	64	68	56	50	68	65	61.1
	H28	61	74	73	75	70	74	69	82	68	70	79	60	71.3
学習室804	H29	90	85	89	91	84	83	87	87	85	90	93	94	88.2
	H28	84	83	83	86	89	79	91	92	86	81	88	82	85.3
調理実習室	H29	3	9	10	23	20	14	36	36	22	26	40	35	22.8
	H28	3	16	10	17	14	7	19	17	12	9	13	8	12.1
和室	H29	47	50	48	51	44	40	59	65	51	53	61	56	52.1
	H28	43	53	57	56	42	55	60	71	59	55	65	53	55.8
子午線ホール	H29	53	55	46	67	48	33	63	68	56	46	54	43	52.7
	H28	35	34	39	44	47	46	51	52	45	27	43	35	41.5
リハーサルスタジオ	H29	36	45	49	50	58	41	45	55	56	56	66	54	50.9
	H28	34	42	56	40	57	58	65	64	70	65	58	44	54.4
音楽練習室1	H29	74	72	80	78	85	91	85	76	81	83	85	82	81.0
	H28	96	97	89	80	79	93	94	82	87	90	87	83	88.5
音楽練習室2	H29	40	54	54	46	49	39	45	55	51	54	64	44	49.6
	H28	39	53	51	54	52	62	60	52	48	61	61	56	54.1
ウィズあかし 全室平均	H29	50.7	56.0	64.4	67.4	65.4	58.8	65.1	69.0	61.6	61.7	72.7	66.0	63.2
	H28	51.2	56.7	59.3	59.8	56.7	60.7	65.8	64.3	62.3	63.8	68.5	56.3	59.4

②インターネット予約

従来の窓口・電話での予約受付に加えて、インターネット予約システムを使ったWEB予約の受付を開始しました。以前の抽選は、毎月月初に来館して実施していましたが、インターネット予約システムの導入により、来館せずに抽選参加できるようになりました。初年度の基盤整備として非常に大きな効果を出しています。利用者からは手軽に予約できるようになり、喜ばれています。

実施日	内容
5月1日	貸室のWEB予約を開始しました
6月2日	貸室の抽選方法をインターネット予約システムによる自動抽選に切り替え、WEBからの抽選参加も可能としました

③ 料金改定

生涯学習センターと男女共同参画センターの貸室受付を1本化したことから、それぞれの備品料金の整理、見直しや、貸室の利用状況に合わせて料金改定を行いました。調理実習室は料金改定によって、稼働率が向上しています。

実施日	内容
4月1日	貸室備品料金を改定しました
12月1日	調理実習室の利用料金を改定しました

④ 保守・点検等

各設備の定期的な点検を実施し、必要に応じて修繕しています。

点検日	点検内容	点検業者
4月19日	吸収式冷温水器保守点検	(株)アサヒファシリティーズ
5月12日	中央監視盤保守点検	パナソニック ES エンジニアリング(株)
5月22～24日	空調自動制御機器保守点検	(株)アサヒファシリティーズ
6月22日	舞台吊物装置保守点検	(株)大阪共立
7月18・31日	定期清掃	(株)アサヒファシリティーズ
8月8～10日	AV システム点検	(株)大阪共立
8月9・10日	舞台音響設備保守点検	(株)大阪共立
9月21・22日	調光卓照明機器保守点検	(株)大阪共立
10月5日	舞台吊物装置保守点検	(株)大阪共立
10月10日	定期清掃	(株)アサヒファシリティーズ
11月28日、29日	空調自動制御機器保守点検	(株)アサヒファシリティーズ
11月30日	吸収式冷温水発生器定期点検	(株)アサヒファシリティーズ
1月9日	定期清掃	(株)アサヒファシリティーズ
1月15日	エアコン室内機エアフィルター清掃	(株)アサヒファシリティーズ
2月19日	冷温水器目視巡回点検	(株)アサヒファシリティーズ
2月19日	9階ガス空調点検清掃	(株)アサヒファシリティーズ
3月19日	定期清掃	(株)アサヒファシリティーズ

(2) ブース・フリースペースの運営

グループ活動スペース（ブースおく・てまえ）とフリースペースは、市民活動団体の主体的な活動を支援するために2017年4月から新しく設置したスペースです。グループ活動スペースは団体内の打ち合わせに使用できます。フリースペースは、イベント実施や展示など、活動のPRができます。オープンスペースでの開催のため、多くの方に活動を知ってもらうことができ、その中から団体同士が共にイベントを行う事例が生まれるなど、新たに出会い、つながる場になっています。

- ・イベント実施数：116件
- ・来場者数：3174人

4. 広報

リニューアルオープンしたウィズあかしを広く市民に知ってもらうため、情報誌の発行やホームページの開設など知名度の向上に努めました。SNSを活用したことで、講座の案内や、センターでの出来事を迅速に伝えられるようになりました。

また、初年度ということもあり、ウィズあかしのブランディングを行いました。ロゴなどは、外注せずにスタッフが作成し、温かみのあるウィズあかしらしいイメージを作ることができました。

(1) ウィズあかしの情報発信

①ウィズあかしホームページの開設

ポータルサイト「まちナビ AKASHI」内にウィズあかしページを作成し、主催事業や貸室の案内などを掲載しています。貸室のWEB予約も本ページを経由してアクセスします。

・年間アクセス数：38,705pv

②情報誌 With の創刊・発行

ウィズあかしのイベントや情報を発信する広報誌として、8月より毎月発行しています。内容は、登録団体のイベントや、主催事業のレポートを中心としており、毎月1200部を発行しています。市内のコミセンや市関連施設に配架しており、重宝されています。

③各種SNS (Facebook、instagram、twitter)の運用

各種SNSで情報発信することで、迅速かつわかりやすく情報を伝えました。特に講座の募集情報や貸室の今日休館情報はSNSでの情報拡散でこれまで届かなかった方に伝えられています。

(2) ウィズあかしのブランディング

毎月1度の全体会にて「ウィズあかし」らしさについてスタッフで協議し、ロゴ、カラートーン、キャッチフレーズなどを決めました。ウィズあかしを運営していく中で日々感じていることを言語化することによって、目指すべきものが明らかになりました。

① キャッチフレーズ「つながる、みつかる、うまれるウィズあかし」

スタッフでのディスカッションの上、ウィズあかしらしさは「つながる、みつかる、うまれる」ことだと共通の認識をもちました。それ以降、各事業で意識して活用しています。

② ロゴの作成

ウィズあかしらしさを表現するためのロゴを作成しました。風車のような形は新しい風を起こし、誰かの追い風になることイメージしています。また複合化したセンターはたくさんのタネがあるということから、それぞれのパーツはタネの形をしています。



③ リーフレットのリニューアル

センターリーフレット、女性のための相談室リーフレットをそれぞれブランディングに合わせた形でリニューアルしました。

5. 視察・研修等

男女共同参画部門の各種研修に参加しました。「女性相談に関わる事務局専門スタッフ養成講座」(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団主催・全 14 回)への参加、女性のための相談室のカウンセラーの資質向上のための SV 研修(計 3 回)などを行いました。適宜、外部の研修や会議に出向き、スタッフのスキルアップに努めました。また、他市の類似する指定管理施設などにも視察に出向きました。

地域支援（協働のまちづくり推進組織支援事業）

明石市は市内 28 の小学校区を単位として、住民による地域自治を進めています。2012 年からはじまった「協働のまちづくり推進組織（以下、まち協）」による地域自治の推進は、3 つのモデル校区を皮切りに、2017 年までに 10 校区でまちづくり計画書の策定を完了しました。今年度は、更に 5 校区がまちづくり計画書策定に取り組みました。次第に校区の活動が活発になり、校区同士で視察し合うなど、市内での意識啓発が好転しています。また現在計画書に取り組む校区は先の 10 校区を参考にしながら、各校区に似合った形で計画書策定を進めており、それぞれの独自性が見える計画書が完成しそうです。支援のあり方も、これまで以上に丁寧に実施できており、効果的な組織強化を進められています。

また次のフェーズに進む校区も散見されることから、市外の先行事例を学ぶセミナーの開催や、情報発信の支援など、まち協の活動を更に発展させるきっかけづくりを進めました。

1. 校区直接支援と全体支援

（1）校区直接支援

校区直接支援では、各校区の状況に合わせて、部会活動の支援やまちづくり計画書策定、地域事務局の設置支援を進めました。実施にあたっては、月に 2 回明石市コミュニティ推進課との情報共有会議を持ち、関連部局と綿密な連携をはかりました。

① 地域交付金受託校区

2017 年度は新たに 7 校区が協働のまちづくり推進組織として活動を始め、部会活動や事務局運営のサポートなど、継続的に活動が展開するような支援を中心的に実施しました。

校区	支援内容
松が丘	<ul style="list-style-type: none"> ・関係づくり ・部会活動に関する情報や事例の提供 ・市連合広報誌第 3 号の特集校区として取材
中崎	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な部会活動を進めるための情報や事例の提供、
和坂	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動に関する情報や事例の提供 ・校区内のボランティア団体ネットワーク組織の交流会における話題提供
花園	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動に関する情報や事例の提供 ・組織体制の整理について相談 ・住民意見交換会の開催及び進行補助
山手	<ul style="list-style-type: none"> ・関係づくり
鳥羽	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセン業務移管に関する支援 (地域事務局の体制見直しや職員雇用に関するアドバイスなど)
江井島	<ul style="list-style-type: none"> ・関係づくり ・市連合広報誌第 2 号の特集校区として取材
魚住	<ul style="list-style-type: none"> ・校区自主防災組織の立ち上げ支援 ・中期計画づくりのための住民意見交換会の進行補助

錦が丘	・関係づくり
清水	・関係づくり

②まちづくり計画書策定校区

まちづくり計画書を策定するための会議や意見交換の場づくり、組織強化につながる支援や、今後の活動を検討していくための情報提供などを中心に実施しました。

校区	支援内容
朝霧	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書プロジェクト会議の立ち上げ、運営、進行支援 ・校区住民に向けたアンケート調査表の作成、集計等に関する支援 ・まちづくり協議会 理事 座談会の進行補助
林	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書プロジェクト会議の立ち上げ、運営、進行支援 ・校区住民に向けたアンケート調査表の作成、集計等に関する支援 ・校区住民との意見交換会の進行補助 ・まちづくり協議会への移行に向けた組織体制の検討支援
藤江	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書プロジェクト会議の立ち上げ、運営、進行支援 ・校区住民に向けたアンケート調査表の作成、集計等に関する支援 ・まちづくり協議会への移行に向けた組織体制の検討支援 ・広報誌発行に関する助言
錦浦	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書プロジェクト会議の運営、進行支援 ・校区住民に向けたアンケート調査表の作成、集計等に関する支援 ・校区住民との意見交換会の進行支援 ・地域事務局の設置、まちづくり協議会運営に関する支援 ・規約の改正に関するアドバイス
二見北	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書プロジェクト会議の運営、進行支援 ・校区住民に向けたアンケート調査の実施に関する支援 ・校区の人口動態に関する情報提供

③その他校区

今後、まちづくり計画書の策定を開始する校区に、組織体制や活動など各校区まちづくり組織に必要な支援を実施しました。

校区	支援内容
貴崎	<ul style="list-style-type: none"> ・県立大学学生の市営住宅への入居コーディネート ・地域事務局設置に関する支援 ・他校区の活動状況について情報提供
高丘西	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に情報共有

(2) 全体支援

全体支援では、ポータルサイト「まちナビ AKASHI」の運用開始を始め、連合まち協の広報誌発行支援など市内に多様な情報を広めることに注力しました。徐々にまちナビ AKASHI を積極的に活用する校区が出現するなど一定の成果をみせています。

また、校区の状況を問わず、誰でも参加できるセミナーや交流会の開催を進めました。いずれも地縁組織に限らず、市民活動団体や行政職員も参加し、協働を勧める場として機能させました。特

に市外の事例を学ぶセミナーには地縁団体から多数の参加があり、十分な意識啓発ができました。

その他、市の主催する会議、懇談会などに対して、日々校区に伴走している視点からアドバイスしました。

①セミナーの開催（まち活パワーアップセミナー、コラボミーツ）

まち活パワーアップセミナーと題して、市外の先進事例から学ぶセミナーを開催しました。また、まち協、市民活動、行政がつながる場としてコラボミーツを開催しました。いずれも、まち協、市民活動団体、他市職員など幅広い方が参加し、学び合い、つながる機会とできました。

開催日	テーマ	ゲストスピーカー	申込者数	参加者数
12月14日	自立した地域活動の作り方 コミュニティビジネスの事例から学ぶ	竹の台地域委員会 NPO法人たけのコム 森川 賢子 氏 濱 尚美 氏	17名	18名
2月1日	明石コラボミーツ vol. 4 まちづくりセミナー「活動の広げ方」	NPO 法人生涯学習サポ ート兵庫 榎本 英樹氏	-	45名
3月1日	みんなで取り組む地域防災のつくり方 グリーンシティ防災会の事例から学ぶ	加古川グリーンシティ防災会 防災アドバイザー 大西 賞典 氏	22名	23名

②まちナビ AKASHI の制作と運用支援

28 小学校区の校区まちづくり組織の情報発信をするポータルサイト「まちナビ AKASHI」を制作し、校区ごとに情報発信できるプラットフォームを構築しました。同時に、校区に合わせて導入、活用方法のサポートを実施しました。これにより、校区ごとにホームページをつくらずとも、情報発信ができるようになりました。

	主な内容
6月	運用マニュアルの作成、配布
8月	連合まちづくり協議会理事会での使い方説明
3月	サイト動作の高速化に向けた改修
通年	校区ごとに使い方、運用方法支援

③市連合まちづくり協議会 広報部会の運営

市連合まちづくり協議会の広報部会が発行する「明石のまちづくり」の2,3号の発行について、取材、記事作成などを行いました。記事内では、校区まちづくり組織や計画書についてコラムを掲載し、市内全域での意識啓発につとめました。

号	発行月	内容	発行部数
第2号	2017年12月	特集：江井ヶ島まち協 コラム：校区まちづくり組織とは その他：自治会部会より・広報部会より	14,000部
第3号	2018年4月	特集：松が丘まち協、防災懇談会 コラム：まちづくり計画書とは その他：自治会部会より・広報部会より	14,000部

④地域事務局会議、防災懇談会の開催サポート

市連合まちづくり協議会が主催し、全校区の防災担当が集まった防災懇談会の市と協議し、当日の進行を行いました。その他、市の主催する地域事務局連絡会議の開催にあたって、内容や当日の

進行について協議しました。

実施日	内容	場所
8月22日	地域事務局連絡会議	明石市役所
2月3日	防災懇談会 ※市連合まちづくり協議会主催	防災センター

⑤ 支援者研修会の開催

地域支援に関わる職員（社協職員等）との合同研修会を開催し、支援者同士の関係構築を進めました。

開催日	内容	場所
12月20日	社協、コミュニティ推進課との合同研修	ウイズあかし
12月22日	社協、コミュニティ推進課との合同研修	ウイズあかし

⑥ その他

ウイズフェス 2018 において、まちづくり協議会のPRエリアを設け、地域のPRを実施しました。当日は、校区内のゆるキャラが勢揃いし、明石のまちづくり協議会について広く周知する良い機会となりました。

2. 視察・研修等

全国の地域支援の状況や、先進事例となる地域への視察を行いました。市連合まちづくり協議会の視察（高松市）や北芝暮らしづくりネットワークに出向きました。

市民の主体的な活動支援事業

1. B-1 グランプリボランティアマネジメント

11月24・25日に開催された「2017 西日本 B-1 グランプリ in 明石」において、活動するボランティアの事前研修及びチーム編成、当日のマニュアルづくりといったボランティアマネジメントを行いました。事前研修等の中に、市民が主体的に活動するための当法人ならではのノウハウを多く取り入れたことで、当日、延べ 1,000 人を超えるボランティアが会場の各所で主体的に活動する姿が見られ、無事に開催することにつながられました。

・研修内容：

マネジメント内容	開催日
ボランティア研修会	9月10日他3回
ボランティア事前説明会	11月9日他3回
ボランティアマニュアルの作成	—
チーム編成	—

2. チラシのデザイン代行

各種団体が開催する講座・イベント等のチラシのデザイン代行を行ない、受講生・参加者等募集の広報活動に活用されました。

・代行内容：

講座内容	依頼元
未来を開くキャリアデザインワークショップ	NPO 法人フルーツバスケット
潜在保育士就業支援講座	
第2回潜在保育士就業支援講座	
Bread Making Lesson	あかし女性応援ねっと
おとな女子塾ワンランク上のおもてなし Fruits cutting	
あかし女性応援フォーラム++	

3. 広報

・「コミュニティ創造協会」ホームページの改修作業

法人規模の拡大により旧来の web サイトでは十分に広報できていなかったことから、当法人の活動がよりわかりやすくなるようにホームページの改修作業に着手しました。

4. 視察受け入れ、講師派遣

センター運営、地域支援、市民活動支援などの複合的な動きについて多数の視察、講師依頼を受けました。

【視察受け入れ】

受入日	視察者
5月17日	丹波市職員7名
6月15日	姫路市市民活動・ボランティアサポートセンター
7月11日	高松市コミュニティ協議会連合会
12月12日	丹波市市民活動支援拠点整備懇話会
3月25日	ふれあいプラザあかし西職員研修

【講師派遣】

開催日	依頼先	テーマ	派遣者
6月2日	大久保わかかき会	わくわく楽しい生涯学習	柏木登起
7月1日	南あわじ市連合自治会 「南あわじ市地域づくり 大交流会」	住民が主体になれるまちづくりに ついて（明石市、南あわじ市の 現状を踏まえて）	柏木登起
10月20日	一般財団法人地域活性化 センター「東海・北陸・ 近畿ブロック情報交換会 in 明石市」	公開対話集会 これからの市 民自治を考える	佐伯亮太
11月7日	明石市子育て支援室子育 て支援課	子育て中のママが、今準備し ておくこと	竹坊由理
3月13日	神戸学院大学人文学部 FD 講演会	市民活動・まちづくり支援の 立場から大学・大学院教育に 期待すること	佐伯亮太

【外部委員】

福田ひとみ：あかし女性応援ねっと運営委員・事務局長

柏木登起：あかし女性応援ねっと運営委員

法人管理、運営

1. 人員体制 ※2018年3月31日現在

評議員：入江一恵、川島幸夫、橋本浩司、山田信彦、山本洋子

理事長：福田ひとみ

理事：久隆浩、竹内利江、山下孝光

監事：乗鞍良彦、藤田道広

事務局長：柏木登起

事務局員：市出向職員 5 名、プロパー常勤職員 7 名、任期付職員 1 名、パート職員 6 名
シミズシーズより派遣 1 名

2. 会議体

- ・評議員会：第 15 回評議員会（6 月 23 日）：2016 年度決算承認、定款変更、役員変更等
第 16 回評議員会（3 月 28 日）：定款変更、役員変更等
- ・理事会：第 16 回理事会（5 月 31 日）：2016 年度事業報告、決算報告、各種規程の改定等
第 17 回理事会（3 月 8 日）：2018 年度事業計画、2018 年度予算等
- ・職員全体会（毎月第 1 月曜に開催）
- ・その他各チーム別会議等（随時開催）